

新しい海外健康・医療

—— 職域を越えて創る健康未来！



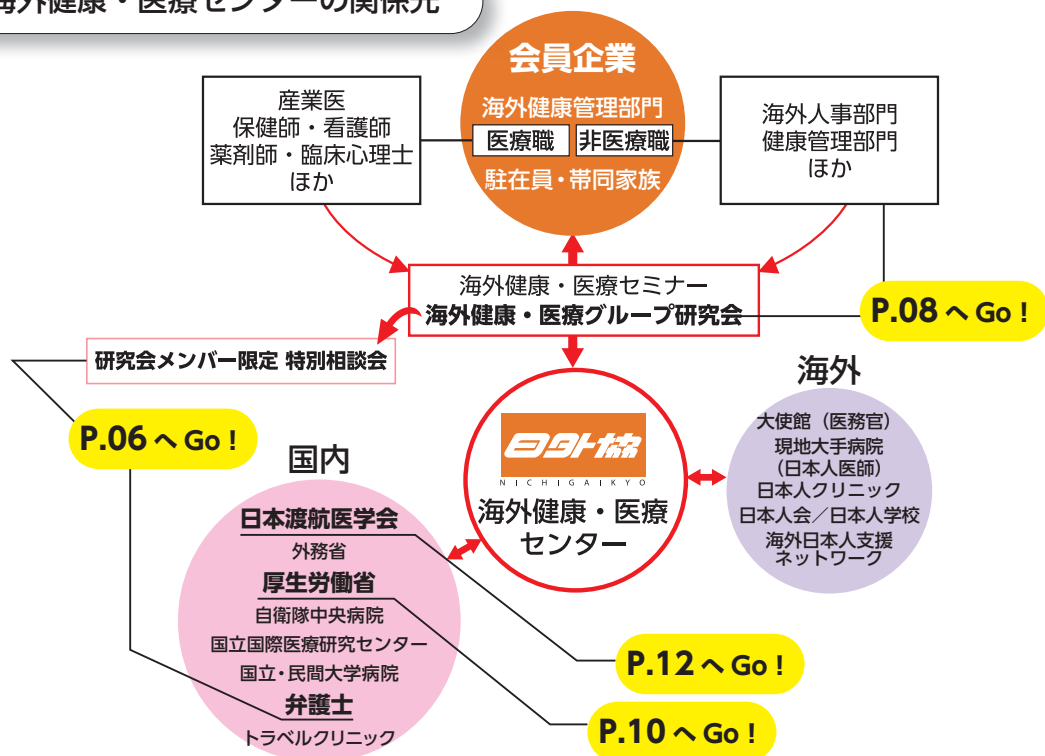
海外で働く駐在員やそのご家族が、現地で安心して暮らし、働くためには、万全な健康支援体制が欠かせない。

その支えとなっているのは、現場で日々尽力する医療職の専門的な知見と献身的な姿勢、そして企業の人事部門や健康管理担当、事業部など、非医療職の方々の見えない努力だ。

日外協 海外健康・医療センターでは、こうした医療職と非医療職をつなぐ場として、「海外健康・医療グループ研究会」を立ち上げ、その輪を広げながら活動をしている。会員企業のリアルなニーズをもとに、セミナーの開催や、日本渡航医学会はじめ官学民の関係機関との連携を通じて情報発信にも力を注いできた。

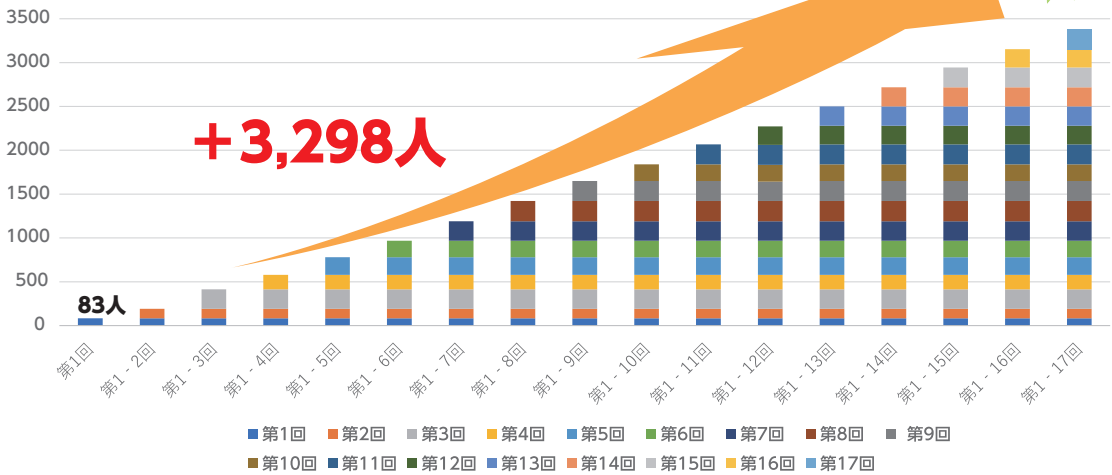
本特集では、研究会メンバー限定の特別相談会の模様や、研究会の非医療職の声、厚生労働省の最新情報、日本渡航医学会・産業保健委員会による帯同家族支援ガイド作成の取り組みを通じて、「職域を越えて創る健康未来」の今とこれからを見つめたい。

海外健康・医療センターの関係先



海外健康・医療セミナー

2022～2025 年度参加者累計人数



2022年4月に海外健康・医療センターが発足して以来、年5回開催する「海外健康・医療セミナー」の参加累計人数は、第17回(2025年7月16日開催)までに3,381人に達し、日外協の人気セミナーの一つとなった。会員企業の海外駐在員・帯同家族および長期出張者の健康管理に携わる医療職(産業医、保健師、看護師他)や非医療職(海外人事部門、健康管理部門他)を対象としたトップクラスの専門家によるセミナーを実施。会場参加とオンラインによるハイブリッド開催をメインとしている。

海外健康・医療グループ研究会

参加メンバー内訳の推移

第1回開催時
(2022年7月25日)
30社 51人

非医療職
26人
51%

医療職
25人
49%



現在
(2025年8月8日時点)
47社 171人

非医療職
92人
54%

医療職
79人
46%

2022年7月25日の第1回グループ研究会開催時には、登録企業数は30社、メンバー数は51人(医療職25人・非医療職26人)だった海外健康・医療グループ研究会は、年4回の開催を重ねて直近では、47社、メンバー数は171人(医療職79人・非医療職92人)にまで拡大した。また、非医療職の割合もこの4年間で51%から54%へと増加傾向にある。会員企業の海外健康・医療への取り組みにおける非医療職の役割が増している傾向が伺える。